

## 事例番号 078 たからばこのまちづくり(岐阜県山県市)

### 1. 背景

山県市は 2003 年 4 月に岐阜県山県郡の高富町、美山町及び伊自良村が合併して生まれた人口約 3 万 1 千人の市である。南側で岐阜市に接する(岐阜駅の北側 9km~34km の範囲が山県市域)。奈良の正倉院宝物殿には「御野国山方郡三井田里戸籍」(702 年(大宝 2 年)作成)が納められているが、その「山方」が岐阜県山県市の地である。

市のほとんどは山岳地帯であり(市面積の約 8 割が森林)、北端の日永岳 1,216m を最高峰に枝状の山地が広がっている。南部(伊自良村、高富町)には長良川のいくつかの支流に沿って平坦地があり、農地と宅地になっている。

旧 2 町 1 村の特徴はそれぞれ「香りの町、高富町」、「湖が美しい、伊自良村」、「美しい森と水、美山町」と表現される。高富町は江戸時代に陣屋が置かれて以来山県郡の賑わいの中心地であったが、現在では集客施設として「香り会館」(リース、香水、バスエッセンス等の制作体験型施設)、「四国山香りの森公園」(ハーブ、香木)等がある。伊自良村は「伊自良湖」(周囲約 4 キロ)を擁する田園地帯であり、「伊自良農産物直売所」、「伊自良キャンプ場」、「森林学習展示館」等がある。美山町は製材業等が主産業の山の中のまちであり、「グリーンプラザみやま・コテージ村」(個性的な 8 棟のコテージ)がある。

山県市は岐阜市中心部とは国道 256 号で結ばれており、また、市の南東方向車で約 30 分の位置に東海北陸自動車道の関インターチェンジがある。このような交通条件にあることから周辺地域との交流の便がある反面、岐阜市等に経済活動が吸引されてしまうという面がある。このような山県市を活性化させるためには地域の独自性を見出すことが重要であるとの認識から、合併を機にまちづくりとしてまずはそれに取り組むこととなった。

### 2. 目標

「第 1 次山県市総合計画〈基本構想〉」(2005 年 3 月)では、まちづくりの基本理念を「豊かな自然と活力ある都市が調和した『安らかで快適な 21 世紀の住みよいまちづくり』」としている。計画の愛称は「住みよさ共感! 「山県すてっぷあっぷ・ぶらん」となっているが、その趣旨は「“住みよいふるさと山県市”を合言葉に、市民と行政が共通の目標に向かって、互いの知恵と力を出し合うことによって、住みよさをさらに高めていく」というものであり、4 つのまちづくりのテーマが掲げられている(“さわやかさ”をステップアップ/ “あったかさ”をステップアップ/ “にぎやかさ”をステップアップ/ “ゆたかさ”をステップアップ)。

その上で、計画推進の視点として①協働の視点、②開拓の視点、③柔軟性の視点、④融和の視点、⑤地域経営の視点が掲げられているが、①の趣旨は「市民等の主体的な活動が不可欠であるという認識に立ち、まちづくり目標の共有化に努め、市民や民間、行政が互いに協力し、知恵を出し合う協働の視点」であると説明されている。そして、山県市のまちづくりはまずこの点の具体化から始まった。

### 3. 取り組みの体制

行政主導の下、行政と市民とのパートナーシップ体制確立への模索が「全国都市再生モデル調査」を活用して行われた。



山県市の位置 (資料:山県市)

#### 4. 具体策

##### (1) 全国都市再生モデル調査のねらい

山口市では 2003 年度に全国都市再生モデル調査が行われた。そのテーマは、「市町村合併に伴う地域住民との協働による新たなまちづくりに向けた調査」である。この調査でパートナーシップのまちづくりの契機をつかむ試行が行われたわけである。

調査は「市民ニーズの把握と地域資源の発掘並びにその共有」及び「地域の魅力・資源を活かしたまちづくりのきっかけづくり」をねらいに行われた。合併直後の山口市では地域間で地域特性の格差とまちづくり意識の温度差が大きかったことから、「市民のまちづくりに対する意識の高揚」と「新市としての連帯感の醸成」とが求められていた。そのため、まずは各地域の「魅力・資源・課題」を発見、発掘して人々の間で共有し、同時に、生活する人々の視点からの地域の課題をあぶりだすことが必要であると考えられた。そして、それらの情報を活かしてまちづくりのあり方、まちづくり活動への支援のあり方を検討することが有用であると考えられた。そのような視点で、シンポジウム、ワークショップ、まちづくりキャラバン隊などが実施された。

##### (2) シンポジウムとワークショップ

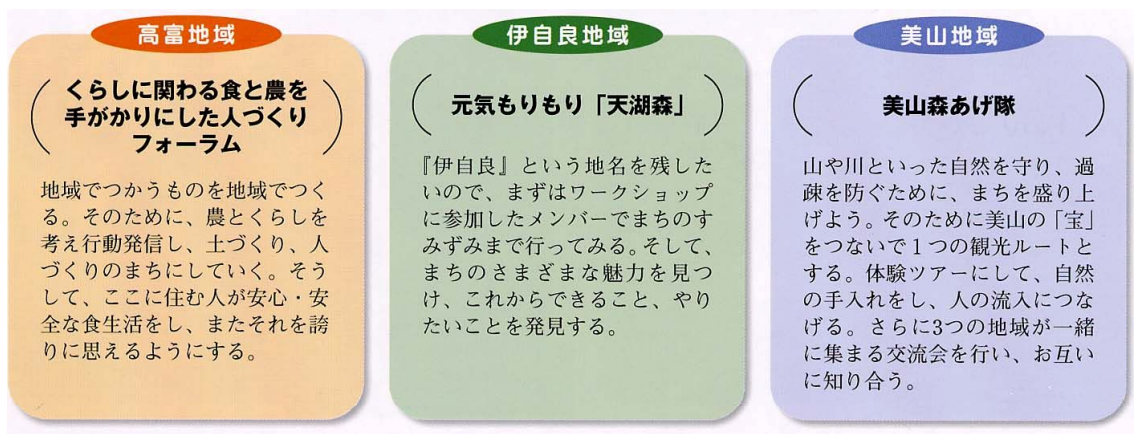
調査開始の周知と協力体制確立の契機とするため、まちづくりシンポジウム「わが地域の魅力発表会」が開催された。そこでは、「まちづくり活動の紹介」（市民により運営される環境重視の朝市、地元女性等により運営される農産物直販所等）、「まちの語り部紹介」等が行われた。

シンポジウムに引き続いて 2 回のワークショップが開催された。第 1 回のテーマは「各地域の「魅力・お宝」を共有（魅力・お宝発見）」、第 2 回のテーマは「各地域の「魅力・お宝」を活用して、より生活しやすい地域にするための企画を考える（魅力・お宝活用）」であった。

シンポジウムもワークショップも以前からまちづくりに関心がある人中心の集まりとなり、多様な人々が集まるという面では限界があったが、反面、密度の高い情報交換の場、議論の場となった。



シンポジウムとワークショップ（資料：山口市『やまがたのたからばこ』2004 年 3 月、以下同じ）



## 第2回ワークショップで出たグループ別プロジェクト案

### (3) まちづくりキャラバン隊

より多様な人々の声をまちの中から集めるため、「まちづくりキャラバン隊」が実施された。キャラバン隊は岐阜市内のまちづくり NPO や岐阜大学の学生等の有志と市職員とが組みになって組織された。目標は「山県市民の1%からの声(魅力・お宝)を集めよう！」である。

キャラバン隊の活動は、対象地区を①明確なターゲットが集まる場所(学生、高齢者、事業者・就業者、集落居住者等)、②不特定多数の市民が集まる場所(商業施設、公共施設)、③地域に根ざした生活をしている人(まちのキーパーソン)とし(下表参照)、手法は対象に応じて個人ヒアリング、グループインタビュー(組織)、ガリバーマップづくり(こども)とした。

表1 まちづくりキャラバン隊の訪問場所

| 対象               | 訪問場所 ( ):地域名                                |
|------------------|---|
| 集落地域居住者          | 集落訪問(美)                                     |
| 高齢者              | 福祉センター(伊)、ゲートボール場(伊)、シルバー人材センター(高)          |
| 学生               | 小学校(高・美)、中学校(伊)、高校(美)、大学(市外隣接地)             |
| 事業者、就業者          | 商店街(高・美)、森林組合(美)、水栓バルブ工場(美)                 |
| キーパーソン           | 寺社、発掘現場、工房、旅館・ペンション、喫茶店、ガソリンスタンド、おみやげ屋、絵本作家 |
| 不特定多数の市民が多く集まる場所 | ショッピングセンター(高)、朝市(美・伊)、公共施設:体育館、図書館他(高・伊・美)  |

凡例：(高)高富、(美)美山、(伊)伊自良

(出典:杉崎和久「市町村合併を契機としたパートナーシップのまちづくりに向けて」『新都市』2005年2月号)、以下の表も同じ)



タマコシ（現平和堂）では、1階エスカレーター前にて、ブースを設置し、ポストくんも登場しました。



福祉センターではマッサージ器でくつろぎ中におじゃましました。



高富小学校では、大きな地図の上にガリバーになった気分書き込んでいきました。



美山のお宝、「美山杉」に関する話を森林組合のみなさんから伺いました。



大桑の発掘現場では、山県の歴史に詳しいみなさんから話を伺いました。



山県の宝、将来を担う子どもたちとも話をしました。



キャラバン隊の活躍



#### (4) チラシの配布等

「山県の魅力・お宝を教えてください！」と題するチラシを市広報誌に挟み込んで全戸に配布した。チラシの裏は「山県の魅力・お宝紹介シート」になっており、自分で情報を書き込んで FAX、郵送または市役所・支所設置の「宝箱」への投函という方法で「お宝発見」に参加できるようになっていた。

また、インターネットの市のホームページに「カキコまっぷ(インターネット地図式掲示板)」を掲載し、閲覧者が情報を書き込めるようにした。



「山県の魅力・お宝紹介シート」(左)と「カキコまっぷ」(右)

その他、市役所ロビーでのパネル等展示、新聞・ケーブルテレビ等での広報、職員対象ワークショップ(一般のワークショップと同じ形式の場を職員が体験)等を行った。

#### (5) 情報収集結果

情報収集結果は下表のようになり、ワークショップで密度の高い情報が得られたこと、まちづくりキャラバン隊で幅広い情報が得られたこと等が確認できた。

表2 手法別情報収集状況

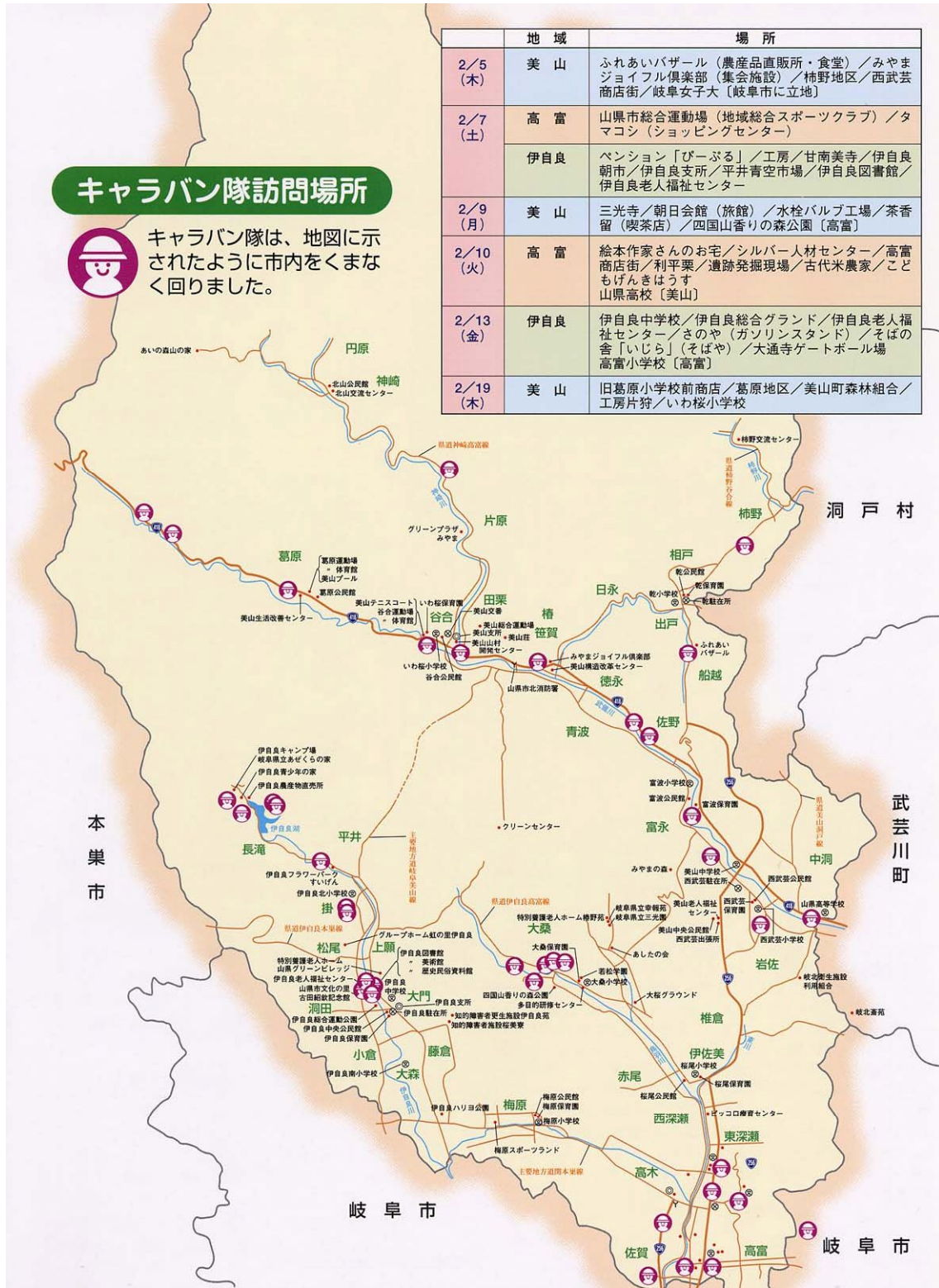
|                    | 人数              | 意見数 |
|--------------------|-----------------|-----|
| シンポジウム             | 43              | 16  |
| ワークショップ            | 第一回23/<br>第二回26 | 178 |
| 職員ワークショップ          |                 | 75  |
| チラシ：広報誌への折込・情報コーナー | 16              | 35  |
| インターネットHP(カキコまっぷ)  | 16              | 35  |
| まちづくりキャラバン隊        | 430             | 748 |

## キャラバン隊訪問場所



キャラバン隊は、地図に示されたように市内をくまなく回りました。

|             | 地域  | 場所  |
|-------------|-----|---|
| 2/5<br>(木)  | 美山  | ふれあいバザール(農産品直販所・食堂) / みやまジョイフル倶楽部(集会施設) / 柿野地区 / 西武芸商店街 / 岐阜女子大(岐阜市に立地)                     |
| 2/7<br>(土)  | 高富  | 山県市総合運動場(地域総合スポーツクラブ) / タマコシ(ショッピングセンター)  |
|             | 伊自良 | ペンション「びーぶる」 / 工房 / 甘南美寺 / 伊自良朝市 / 伊自良支所 / 平井青空市場 / 伊自良図書館 / 伊自良老人福祉センター                     |
| 2/9<br>(月)  | 美山  | 三光寺 / 朝日会館(旅館) / 水栓バルブ工場 / 茶香留(喫茶店) / 四国山香りの森公園(高富)   |
| 2/10<br>(火) | 高富  | 絵本作家さんのお宅 / シルバー人材センター / 高富商店街 / 利平栗 / 遺跡発掘現場 / 古代米農家 / こどもげんきはうす / 山県高校(美山)                |
| 2/13<br>(金) | 伊自良 | 伊自良中学校 / 伊自良総合グラウンド / 伊自良老人福祉センター / さのや(ガソリンスタンド) / そばの舎「いじら」(そばや) / 大通寺ゲートボール場 / 高富小学校(高富) |
| 2/19<br>(木) | 美山  | 旧葛原小学校前商店 / 葛原地区 / 美山町森林組合 / 工房片狩 / いわ桜小学校  |



キャラバン隊の訪問地

かけがえのない  
未来への財産。

山県市が提案した「市町村合併に伴う地域住民との協働による新たなまちづくり調査」が平成15年度の国の事業採択（※全国都市再生モデル調査事業）を受けました。これから新しい「山県市」のまちづくりを進めていくためには、地域の魅力や資源を活かしていくことが重要です。そこで、平成16年1月から3月にかけて、山県市にかかわりのある多くの方から「山県の魅力やお宝」をお聞きしました。そこでみなさんからお寄せいただいた情報を、「やまがたのたからばこ」として、とりまとめました。山県市の今後のまちづくりに活かしていきたいと思っております。

# やまがたの たからばこ

※全国都市再生モデル調査事業

「地域が自ら考え自ら行動する」都市再生活動を国が支援する事業です。地方公共団体、地方公共団体の部局を構成員に含む団体、まちづくり活動に係るNPOその他の団体が応募でき、平成15年度は全国から644件応募、うち171件選定されたうちの一つが山県市の提案になりました。

山  
県  
市

できあがった「やまがたのたからばこ」表紙





「お宝・魅力」(高富地域の例)

# 高富のお宝・魅力

|   |  |
|---|--|
| <b>第1位</b><br><b>四国山</b><br><b>香りの森公園</b><br>(30人)            | 楽しめる／気持ちが落ち着く／心身ともにリフレッシュできる／香り会館は癒しの空間／<br>こどもの遊び場がある／ドームではたくさん遊ぶことができる／自然もたくさん／喫茶も<br>落ち着く／いろいろな行事がある／栗まつりははずせない／ウォークラリーの山登りは最<br>高／手作りせっけんが面白い／家族でよく行く／岐阜市の自宅からよく出かける／公<br>園の遊具を充実させてみては／香り会館に県外からこられた友人をご案内します／公共施<br>設なので安い／周辺では一番大きなハーブ園 |
| <b>第2位</b><br><b>高富小学校</b><br>(25人)                           | 新校舎できれい／バリアフリーで使いやすい／新しい小学校で設備がいい／勉強がしやす<br>い／運動場がひろい／みんなげんきだから／吹き抜けが面白い／たのしいところ／パ<br>ソコンがひとり一台つかえる／木できていて自然がいっぱい／太陽の光が入ってあたた<br>かくて、あかるい／よく遊びに来る／じまんできる   |
| <b>第3位</b><br><b>大桑城</b> (9人)                                 | 歴史文化的価値／山県で伝承していくべきもの／自然を保存して魅力を高めて行ける／歴<br>史要素と自然要素が混じる。珍しい高山植物もある／みんなで登山しに行く／最近、人が<br>沢山来るようになってきた   |
| <b>第4位</b><br><b>シルバー人材センター</b><br><b>直売所</b> (8人)            | いろいろな人と話せる／安い／トイレ休憩が出来るようにしたりお茶したりできる<br>ような施設にしてほしい   |
| <b>第5位</b><br><b>利平栗</b> (7人)                                 | 大きい／おいしい／日本有数のすごく甘い栗／大粒である／全国に知れ渡っている／特産<br>品としてPRしたい  |
| <b>第5位</b><br><b>みんなのげんきひろば</b> (7人)                          | 元気な子どもたちが遊んでいる／きれいな芝生があってサッカーの練習がしやすい／遊ぶ<br>とこがたくさん／広く、すばらしい芝生広場／春から夏にかけては最高   |
| <b>第7位</b><br><b>総合体育館</b> (6人)<br><b>地域総合スポーツクラブ</b><br>(2人) | 自由に使うことができる／障害者用の設備がある／バレーの決勝戦が行われている／毎日<br>使える道場が欲しい／大きな大会やレベルの高い試合を見られるようにして欲しい  |
| <b>第7位</b> <b>かたくり</b> (6人)                                   | 毎年きれいにいっぱい咲いている  |

## 以下「3名以上」の意見

栗まつり(5)／東海環状道高富IC(4)／三洋堂  
 (4)／金鶏の滝(3)／鳥羽川の風景(3)／こども  
 げんきはうす(3)／タマコシ(現平和堂)(3)／石  
 田川の自然(3)／森古墳(3)／南泉寺(3)

## まちづくりの課題もあります

住宅と工場が混在している／街灯がない箇所があ  
 る／商店街が衰退している／石田川が汚い／障害  
 者の人にもやさしいまちに／歩道の点字ブロック  
 の上に自転車置いてある／道路が狭い／道沿い  
 の看板が見苦しい／いなか、町にして欲しい／大  
 きな産業を誘致してほしい／交通が不便(通勤が  
 不便)／公園が少ない(遊ぶところがない)／ゴミ  
 問題(田んぼにゴミ)

## そのほかのお宝・魅力

①取矢神社②六万墓③古代米④野苺スポット⑤こどもがみんな挨拶する  
 ⑥小学校のバケツ稲⑦大桑の里⑧ホテル⑨バンドでどん⑩遊歩道⑪大桜  
 グランド⑫たけのこほり⑬椎倉坂⑭白山神社⑮四川ラーメン⑯唐銅古  
 墳⑰津島神社⑱喫茶バイカル⑲岐阜冷機⑳高木神社㉑持成の阿弥陀如来  
 像㉒山県市役所㉓鳥羽川の伏越し㉔喫茶メリーアン㉕七社神社㉖公民館  
 のシルバー人材センター㉗ゴルフ場(練習場)㉘山㉙アルルの米粉ロール  
 ケーキ㉚みのや㉛遊歩道㉜子守神社㉝4代目の豆腐やさん㉞絵本作家と  
 イラストレーター㉟結婚式場㊱紙清㊲森医院本宅の庭㊳旧ライオン軒㊴  
 松葉㊵夜鳥の柳㊶鏡岩㊷わらびが採れる

〈場所を限定しないお宝〉 和太鼓／高富青雲組／自然がいっぱい／住み  
 やすい／店がいっぱいある／のんびりする  
 町／公園が多い／体育に力を入れている／人  
 が親切であたかい／やさしさ／美濃よめな  
 すび

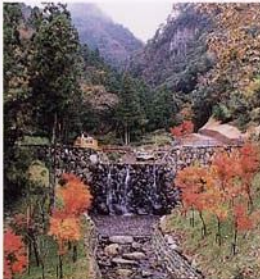
「お宝・魅力」の説明(高富地域の例)

## 自然環境

### ● 豊かな自然

#### <主な意見内容>

いっぱい山がある／山が美しい／自然に親しめる／空気・水がきれい／自然が残っているのがいいところ／食べ物が美味しいのは最高／来るたびに癒される／落ち着きます／市民のいやしの場として大切／個性ある山が多く、登山道も整備されている／子ども達と一緒に自然の中で遊べる／子どもが育つ環境としてはいい／子どもたち自身が色々な遊びを知っている／このまま自然がいっぱい残ってくると良い／あんまり人が来すぎて汚れてほしくない／保全することも必要／多様な自然をいつまでも守って行って欲しい／宝である自然をどうやって守っていくかが課題／川をみんなできれいにすることで何かそこから生み出せるかも／自然が豊かなのは、生活環境に不可欠な要素となっている／緑が多くて住みやすい／不便そうに見られがちだが、自然豊かで楽しいまちだと思う／生活するには不自由しない「住めば都」



「場所や地域を限定しない山県のお宝・魅力」(自然の例)

キャラバン隊による世代別、地域別の情報収集状況は下表のようになり、情報収集が難しかった世代もあったことがわかったが、全般的に効果的な手法であることが確認された。

表3 キャラバン隊世代・地域別意見収集状況（単位：人）

| 世代  | 高富                                   |    | 美山 |    | 伊自良 |    | 市外 |    | 計   |     |
|-----|--------------------------------------|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|
|     | 男                                    | 女  | 男  | 女  | 男   | 女  | 男  | 女  | 男   | 女   |
| 0-9 | 1                                    | 1  |    |    |     |    | 1  |    | 2   | 1   |
| 10  | 3                                    | 14 | 14 | 6  | 1   | 5  | 1  | 5  | 15  | 24  |
| 20  | 3                                    | 3  | 2  | 2  | 1   |    |    | 7  | 6   | 12  |
| 30  | 3                                    | 4  |    | 1  | 1   |    | 3  | 4  | 7   | 9   |
| 40  | 1                                    | 3  | 1  | 1  | 1   | 3  | 4  | 1  | 7   | 8   |
| 50  | 7                                    | 2  | 7  | 5  | 3   | 3  | 5  | 6  | 21  | 17  |
| 60  | 8                                    | 11 | 9  | 3  | 9   | 3  | 7  | 3  | 32  | 19  |
| 70  | 4                                    | 2  | 11 | 6  | 2   | 1  |    | 3  | 17  | 11  |
| 80  |                                      | 1  | 2  | 5  | 4   | 4  | 1  |    | 7   | 9   |
| 90  |                                      |    |    | 1  |     |    |    |    | 0   | 1   |
| 不明  | 2                                    | 2  | 4  | 5  | 2   | 6  | 3  | 3  | 11  | 16  |
| 小計  | 32                                   | 43 | 50 | 35 | 24  | 25 | 25 | 32 | 138 | 143 |
| 学校  | 山県高校：5 伊自良中：39 高富小：79<br>いわ桜小(美山)：22 |    |    |    |     |    |    |    |     | 142 |
|     | 合計                                   |    |    |    |     |    |    |    |     | 430 |

## (6) 調査結果

調査結果は市のホームページに掲載するとともに、「やまがたのたからばこ」というリーフレットを作成して全戸に配布した。

## 5. 特徴的手法

さまざまな調査手法を組み合わせ、単なるシンポジウムやワークショップでは得がたい生活に密着した幅広い情報を多くの人々から草の根的に集めた点が本調査の大きな成果である。

## 6. 課題

今後、この貴重な情報をどのように具体的にまちづくりに活かしていくかが課題である。また、本調査を通じて得られた体験・人間関係をどのように今後のパートナーシップ形成に結び付けていくかを検討することも課題である。

(参考・引用文献)

山県市ホームページ

都市再生本部ホームページ

杉崎和久「市町村合併を契機としたパートナーシップのまちづくりに向けて」(『新都市』2005年2月号)